

# 産業投資の管理運営についての 検討の進め方（案）

平成30年6月22日  
財務省理財局

# 産業投資の管理運営についての検討の進め方（案）

## 1. 検討のスケジュール

- 30年末まで            31年度編成中に検討する事項についての対応
- 31年6月末まで      検討項目についてとりまとめ

## 2. 検討の基本的考え方

産業投資は、産業の開発及び貿易の振興のために、株式配当金、株式売却収入、財投機関からの国庫納付金などを再投資に回し、直接的な租税負担を極力伴わずに資金供給を行っていく仕組みである。また、長期的に耐えることができる資金であるという特徴等を活かして民間金融市場を補完することとしている。

こうした中、近年、出資等が投資の原資として行われる割合が増加していることから、それに対応したストックにも重点を置いた管理運営手法を検討する。

## 3. 検討項目（案）

### （1）産業投資の経緯・原資の性格等

- ・産業投資の歴史的経緯を踏まえつつ、原資の性格や用途（①投資の原資、②融資等のリスクバッファ等）について整理。

### （2）投資の原資としての出資の管理運営（官民ファンド・政策金融機関等の投資資金）

#### ① 基本的な考え方

- ・我が国のリスクマネー供給において産業投資が果たすべき役割、目指すべき方向性について、重点的に取り組むものを整理しつつ検討すべきではないか。その上で、産業投資としての「成功」の意味を投資の性格毎に明確化し、それに応じたガバナンスのあり方を検討すべきではないか。
- ・また、官民ファンドについては、官からの出資は時限的であることを踏まえ、民間ファンドの発展に資する観点も必要。このため、収益性と政策目的のバランス等を機関毎に検討すべきではないか。
- ・投資業務に携わる人材の育成やネットワークの観点は、民間のリスクマネー供給のエコシステムを形成するために重要ではないか。
- ・投資資金としての性質上、意思決定の機動性・裁量的自由度を一定程度確保すると同時に、損益の責任の所在を明確化したガバナンスについて検討すべきではないか（具体的には下記②③で検討）。その際、出資金の資本コストについても考慮すべきではないか。
- ・また、投資の所要額と財源としての投資収益等が一致しない場合があることから、産業投資の予算・執行管理についても検討すべきではないか。

## ② 出資時点での条件について

- ・ 収益の責任を明確化する観点から、産業投資の出資時に機関との間で、損益分配、投資の EXIT 方針等の条件を設定することを検討すべきではないか。
- ・ 官民ファンドの役職員の報酬について、リスクマネー供給という業務の性格を踏まえ、インセンティブと責任が組み込まれたガバナンスについて検討することを求められないか。

## ③ 出資後の管理について

- ・ 産投出資に関し財投機関に対して行うガバナンスについて、主務省の関与の位置付けや機関内部のモニタリング体制の整備を求めることを含め検討すべきではないか。

## ④ その他の課題

- ・ 官民ファンドの収益性等については、会計検査院からの報告や官民ファンドの活用推進に関する関係閣僚会議幹事会での検証が行われているところ。こうした状況を踏まえ、各機関及び主務省が連携・統合等を含めた効率化等に向け、適切に対応しているかフォローアップすべきではないか。

## (3) その他の出資の管理運営（政策金融機関（投資資金を除く）、独立行政法人）

### ① 政策金融機関

- ・ 政策金融機関のリスクバッファ等となっている産投出資について、当該業務の状況を定期的にレビューし、既往出資の扱いを適切に管理する枠組みを検討すべきではないか。

### ② 独立行政法人

- ・ 独法については、3～5年の中期目標期間中における既往出資の管理のあり方を検討すべきではないか。その際、独法（中期目標管理法人及び国立研究開発法人）は中（長）期的な視点に立って執行することが求められていることと、既往出資の保全のためには適時に適切な対応を行う必要があることとの双方の視点に留意しつつ、検討する必要があるのではないか。

## **4. 論点のうち 31 年度編成中に検討する事項**

- ア 既往出資についてのレビューを実施し、31 年度計画にできる限り反映することとしてはどうか。
- イ 31 年度において、新たな枠組みでの出資の要求がある場合には、上記論点の産業投資の出資時に機関との間で条件を設定する等の考え方をできる限り反映することとしてはどうか。
- ウ 官民ファンドについて、各機関及び主務省が連携・統合等を含めた効率化等に向け、適切に対応しているかフォローアップすることとしてはどうか。